

Q 子どもが安全に通学 できる環境整備を

小林ひとみ 議員
こばやし



A 交通弱者の立場に立った 交通安全対策に努める

問 通学路点検の取組は。

答 千葉県八街市の痛ましい事故を受け、直ちに改めて通学路点検を行うよう指示をした。結果を踏まえ、道路の安全性を向上させるためのグリーンベルトの設置、外側線の復旧、ラバーポールの設置を行う。また、自動車運転者への注意喚起を促す啓発反射材の更新と新設を行う。

問 全対策や交通安全に関する教育、普及啓発活動に引き続き注力する。

答 登下校時の防犯対策は、教職員が定期的に登下校指導を行い、安全を見守っている。小学校では、スクールガードリーダーを中心に交通指導員、PTA、学校応援団や地域支援会

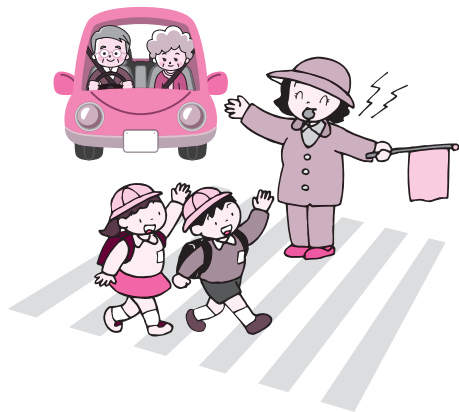
の協議会の方が見守り活動を行っている。不審者情報があった

場合は、児童・生徒に注意を促し、日常的に犯罪から身を守る意義を高めている。

問 防犯カメラを通学路に設置する考えは。

答 大変有意義であると認識しているが、通学路が細かく枝分かれしているなどの課題があり、更なる検討が必要である。

◎その他の質問 奨学金を活用した若者の地方定着促進について



Q 交通安全対策について

おがわ 小川 議員
しげる 茂



A 危険箇所の解消に努めている



啓発反射看板を設置した道路

問 通学路の定期点検の実施は。各小・中学校で作成する学校安全計画に基づき、各年度当初に定期的に安全点検を実施している。また、児童・生徒が登下校する際には、教職員による立哨指導、スクールガードや学校応援団等による安全確認を実施している。

問 市民からの危険箇所の指摘や改善要望は。昨年年度は78件の指摘や要望があった。寄せられた意見に対しては、速やかに状況を確認した上で対応を検討し、必要な交通安全対策を実施している。

問 放置自転車の現状と課題は。放置自転車の撤去は、鶴ヶ島駅、若葉駅及び一本松駅で、毎月不定期に実施している。昨年度は150回の撤去作業を実施し、81台を撤去した。課題は、若葉駅西口の商業施設敷地内に置かれる自転車が歩道にはみ出し、点字ブロックを塞ぐ状況が頻発していることであり、週に1回不定期に指導・誘導業務を実施し、直接注意を促している。

問 今後の更なる安全対策は。誰もが安心して暮らせる交通環境づくりに向けて、事故原因や危険箇所の把握とともに、交通安全施設を整備する。また、交通安全教育も実施していく。